

【施設状況】

グループ名称	若穂多目的広場									
指定管理者名	公益社団法人長野グライダー協会						法人番号	1100005000034		
所管課	主	155400	スポーツ課		副					
構成施設		若穂多目的広場								
施設分類	03	施設貸出2型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	多目的広場(グライダー練習場)									
施設設置目的	グライダーの運航及び各種行事の用に供し、航空スポーツの育成及び市民の文化の交流に資するために設置する。									
基本方針等	若穂多目的広場は、長野市内で唯一の航空スポーツに対応した運動広場であり、専門的な知識と技術を持ったスタッフの運営により、幅広い年齢層の人々に航空スポーツを楽しんでもらい、裾野を広げていくことを目指している。									
主な実施事業	・グライダー操縦訓練 ・施設の貸出し ・各種イベントの開催									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	公益社団法人長野グライダー協会				当該指定管理者の 指定回数	5 回
指定期間	令和4年4月1日	～	令和9年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成18年4月1日
指定 管理者 の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)	令和5年4月に発生した、墜落、死亡事故について、国への報告は適正に行われたものの、結果の重大性を考慮し、「2」と評価したもの				2

2 施設の有効活用

No. 62

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年比	評価
	グライダー訓練	人	1,608	1,191	1,619	1,516	94%	3
	グライダー教室	人	0	0	74	122	165%	
	その他訓練等	人	644	2,048	1,450	1,193	82%	
(特記事項) その他訓練等の使用人数は、県警白バイ隊、警ら隊、高速機動隊、消防航空隊等訓練、企業による車両テスト、撮影などによる。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・使用の許可に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・施設の使用許可の取消しに関する業務 ・市が必要と認める業務						
	自主事業	・一般市民向け体験飛行						
サービス維持・向上の取組み (広報等)		年間を通じて除草、グラウンドおよび周辺整備、地元住民との懇親						

3 利用者評価

利用者の評価				3	
利用者要望把握	区分	内容			評価
	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り			
		(2) 調査、会議等の内容 現場での聞き取り等によって把握している。			
(3) 調査、会議等の結果 聞き取りの結果、特に要望なし					
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 整備が行き届いていて使いやすい。				
	(2) 苦情・改善等の要望事項 舗装路面のひび割れ、排水不良				
	《対応措置》 ひび割れ等について、溝の広がりや伸展を防ぐため、除草対応を行った。				

4 事業収支

No. 62

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和5年度)				市の収支				評価	
		年度計画額		収支実績額			令和5年度決算		令和4年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額
	収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
		指定管理料		指定管理料			雑(納付金)		雑(納付金)	
		委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料			
	その他収入		その他収入		その他		その他			
	計	0	計	0	計	0	計	0		
	支出	人件費		人件費		歳出	指定管理料		指定管理料	
設備管理費		400,000	設備管理費	624,000	委託料			委託料		
備品購入費			備品購入費		需用費			需用費		
修繕費		修繕費		役務費		役務費				
光熱水費		光熱水費		使用料・賃借料	100,000	使用料・賃借料	100,000			
事業費		事業費		修繕費		修繕費				
事務経費		事務経費		工事請負費		工事請負費				
本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費				
その他		その他		その他		その他				
計	400,000	計	624,000	計	100,000	計	100,000			
自主事業	収入		収入							
	支出		支出							
	自主事業損益	0	自主事業損益	0						
損益	-400,000	-624,000	差引	-100,000	-100,000					
人件費比率【人件費(賃金等)／令和5年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									0.0%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 事務局長1人、会計1人、運営委員4人(2) 総数:6人		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒	
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いが適切に行われたか	☒	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☒	
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制

※ すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

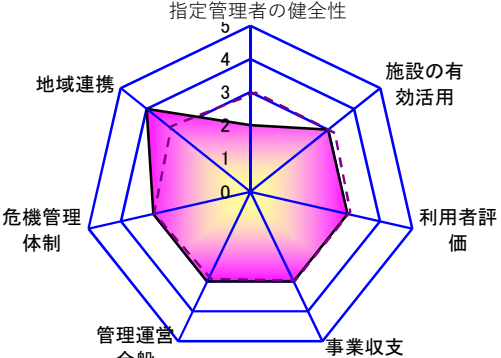
No. 62

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☑	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
------	--	--	--

【総合評価】

総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価	
	指定管理者の健全性	2	4	合計得点	 指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携 基準値
	施設の有効活用	3	12		
	利用者評価	3	6	60	
	事業収支	3	6		
	管理運営全般	3	12		
	危機管理体制	3	12		
	地域連携	4	8		

評価理由	・「指定管理者の健全性」については、国への報告が必要な事故が発生した際に、指定管理者の航空法に対する認識不足により、報告が遅れたため、評価を「2」とした。
------	---

前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
取り組み・改善案等 (施設所管課) ・事故発時の報告について、報告漏れがないよう適切に行うこと	・前年度に引き続き報告が遅れた案件があったが、それ以降は適切に事故報告や対策方法が報告されている。	
次年度の目標・ 取り組み等 (施設所管課)	・事故発生時の対応について、指定管理者と再度確認し、適切に実施する。 ・安全対策及び施設の維持管理の徹底を図る。 ・グライダーでの利用以外にも、施設の目的に合った利用要望が申請された場合は積極的に受入れ、施設の有効利用を促進する。 ・安全対策を徹底したうえで一般市民向けに飛行体験を行い、スカイスポーツへの理解を深める。	

指定管理者自己評価	
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み ・除草の徹底、排水不良個所の地盤改善等により、安全な利用につとめた。 ② 業務の効率化に対する取組み ・乗用大型、中型除草機を5台活用し、安全のため周辺のブッシュを刈り取った。 ③ その他	
(2) 指定管理者業務実施上の課題	
(3) 総合評価 評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る ① 評価理由 ・徹底した除草、グランド整備、市民活用、県警等公共事業に協力するなど、有効に活用できた。 ・自主事業であるグライダー教室について、実施することができた。 ② 次年度以降の取組み ・グライダー教室の参加人数の増加を図るとともに、競技人口の拡大を目指す。 ・中高生を対象に、夏休み期間中の特別授業を実施する。 ・みらいハッ！ケンプロジェクトを活用し子どもたちの体験を実施する。	指定管理者 自己総合評価 B